

リンドウ

震災前にも生産していたリンドウをつくっています。植えればスクスク育っていた以前のような土の状態にはなかなか戻らなくて思案しながら続けています。福島県の新品種「天の川」も昨年からは出荷を始まりました。

佐野タケ子さん(前田・八和木)



村内で栽培されている花の一部を紹介し、販売用の花卉を栽培している花卉農家は村全体で約35件(避難先で継続している方を含む)。避難指示解除から6年が経過する中で徐々に増加してきました。初夏に出荷するシャクヤクや、ユーカーリなどの枝物をつくっている方もいて、品目も変化してきています。

トルコギキョウ

ハウスを増棟し、2年目の今年は1万5,000本を定植しました。需要が復活してきていると聞き人気低迷していたイエローも育ててみました。いよいよ出荷の時期。福島市場をメインに東京の市場にも出荷します。

小原健太さん(上飯樋)



いい た て の 花



カラー

3月頃に球根を掘って乾かし植え直します。秋に掘るのが一般的ですが飯館の冬は寒いので土中で冬越しさせています。震災前は黄色のカラーをつくっていました。今は紫とピンクの2色を道の駅に出しています。

佐藤隆芳さん・幹子さん(前田・八和木)



アルストロメリア

地温の調節をして夏も冬も栽培しています。帰村に合わせて、以前から興味があったアルストロメリアに挑戦することを決めました。つくる楽しみがあるから続けられる。家族でできる規模の農業が好きなんです。

高橋日出夫さん(関根・松塚)



ソリダコ

初夏に咲いた株を切り戻して、秋の収穫を目指しているところ。飯館の冬も越せることが分かり、成育は順調。添え花なので単価は安いのですが、一度植えたら10年は収穫できる花なのでつくりやすいです。

伊集院博さん(草野)



小菊

1年以上の研修を経て始めました。最初は工程に追いつけられましたが現在では年に数万本を出荷できるように。畑は数年おきに移動し連作障害を防いでいます。生産者は見えない所にも手をかけて頑張っていますよ。

齋藤昌良さん(深谷)



スターチス

会社勤めをしていましたが、少し早めに第二の人生を始めようと夫婦で相談して花卉農家になりました。秋から冬の値が付く時期に出荷できるよう温度管理を大事にして頑張りたいですね。

菅野 守さん・アーリーンさん(関根・松塚)



カスミソウ

他の花を引き立ててくれる花ですが、私は主役だと思ってカスミソウを育てています。だってこんなにきれいなんだもの。道の駅には花束も出しています。花をいじっている時が幸せ。かわいくて仕方ないのです。

菅野徳子さん(関根・松塚)



ヒマワリ

露地のヒマワリ栽培は3年目。契約栽培で今年は1万本を出荷する予定です。花卉栽培はやってみなければ分からないことが多いですが、種が芽吹いて成長していくのを見ていくところに楽しさがあります。

花井由貴さん(大久保・外内)

